

もりやま 市議会だより

ともに考えよう 守山の未来

2026
8/1

No.182



玉津小学校 6 年生



未来へつながる議会学習会

～小学6年生が議場で議会の役割や仕組みを学びました！～



小津小学校 6 年生

詳しくは16、17ページをご覧ください

Contents

- 議員表彰／6月定例会議の概要 2
- 常任委員会報告 3～5
- 特別委員会報告 6～8
- 視察報告 8～9
- 市政を問う 個人質問 10～15
- 玉津小学校・小津小学校6年生 議会学習会 ... 16～17
- 令和7年度 政務活動費の収支状況 18
- 市議会BCPの策定 18
- 議会活動報告 18
- 審議結果一覧・次回会議等開催予定 19



定例会議報告

全国市議会議長会から特別表彰・一般表彰受賞

市政の振興に功績のあった者として、全国市議会議長会から、藤木猛議員が市議会議員30年以上の特別表彰を、田中尚仁議長、福井寿美子副議長、渡邊邦男議員が市議会議員10年以上の一般表彰を受賞されました。受賞に伴い、6月定例会議の冒頭に、議場で表彰状が伝達されました。



6月 定例会議

予算案件2件、条例案件3件、人事案件24件、意見書1件の計30件を可決しました。
主な議案の概要は、次のとおりです。

可決

一般会計補正予算 総額 1億7,774万円

主な補正概要

- **コミュニティ活動推進事業費補助金 440万円**
大曲自治会(自治会館備品整備)、大門自治会(自治会館備品整備)に対する補助金
- **大林森川原線道路整備事業に係る用地取得等 308万円**
大林森川原線の通学路拡幅工事に伴う必要な用地取得費等
- **就学前教育・保育施設整備費補助金 7,773万円**
市内民間こども園の空調やキュービクルの更新に係る整備費に対する補助金
- **消防団の力向上モデル事業 600万円**
国の補助金を活用し、若手・女性団員の意見を取り入れた消防団員用防寒着やアポロキャップを更新する費用
- **地域農業構造転換支援事業費補助金 4,213万円**
市内認定農業者が導入する農業用機械や、施設の導入に対する補助金
- **魚釣り場建屋撤去工事 990万円**
老朽化により傾いている木浜内湖の魚釣り場栈橋上にある管理棟建屋の撤去費用
- **野洲川斎苑葬祭棟空調設備更新工事等に係る負担金 2,720万円**
斎苑葬祭棟の老朽化した空調設備(20台)の更新工事に係る負担金

総務常任委員会

委員会協議会

第2期守山市空家等対策計画の骨子案について

5月20日に開催された、第1回空き家等対策推進協議会で議論された内容を踏まえ、作成された計画の骨子案について説明を受け、議論しました。

空家等対策の基本的施策

空家化の「予防」および「実態把握」

住みいるノートの活用
福祉部局と連携した単身高齢者等世帯への周知、啓発
空家等管理活用支援法人と連携した相談会等の開催

空家等の「適正管理」

管理不全空家等に対する指導
特定空家に対する措置

空家等の「利活用」

子育て世帯が入居する際のリフォーム費用に係る支援の検討
モデル自治会における実態調査の結果等を踏まえた支援策の検討
市街化調整区域における基準緩和の検討



※空き家100円市の様子

議員からの意見

- ・空き家に関する勉強会や相談会に多くの方が参加できるよう、積極的な周知啓発をしてほしい。
- ・「空き家100円市」の取り組みがよかったと参加者からも聞いた。ぜひ、市内に取り組みを広めてほしい。

ふるさと納税の取組状況について

令和7年度のふるさと納税の取り組み内容や実績について報告を受けました。

令和7年度の実績

寄附件数	16,635件
寄附受入金	3億2,585万3千円(A)
経費(返礼品代、委託料等)	1億5,719万9千円(B)
市民税控除額	4億5,622万1千円(C)
ふるさと納税の実質収支	((A-B)-C) -2億8,756万7千円



守山市ふるさと納税PRチラシ

議員からの意見

自治体の財政負担や、制度の公平性の面で課題があることから、全国市長会等において、より踏み込んだ議論を行うべき。

文教福祉常任委員会

委員会協議会

小学生の放課後の居場所づくり事業について

令和9年4月から玉津小学校、中洲小学校で開設予定の小学生の放課後の居場所について、具体的な制度設計、運営方法等について説明を受け、議論しました。

事業の概要

対 象 者	小学校に通うすべての児童
開 室 時 間	平日：学校終了後から午後5時まで 長期休業期間(夏季、冬季)：午前9時から午後5時まで
利 用 料 金	月額1,500円(8月のみ月額6,500円) おやつなし ※生活保護世帯、非課税世帯、ひとり親世帯は減免
登 所 方 法	学校終了後、直接または集団下校後 ※1、2年生は集団下校後の登所のみ 集団下校後、長期休業中の登所は原則保護者の付き添いが必要 (3年生以上は保護者の希望により児童のみの登所を可とする)
降 所 方 法 (帰宅)	原則、保護者のお迎え (3年生以上は保護者の希望により児童のみの降所を可とする)
登降所管理	LINEシステムを使用した登降所管理と保護者への通知を行う。

主な活動場所 (今後、改修を予定しています)

玉津小学校：コンピューター室



中洲小学校：かがやきルーム



議員からの意見

低学年児童は早い時間に下校するので、居場所利用の児童とまだ授業を受けている高学年児童が同じフロアを行き来することが想定され、入り交じらないよう工夫が必要である。

もりやま障害福祉プラン2027の策定について

「真の共生社会を目指して」を基本理念に、障害者福祉施策を総合的に推進するため、もりやま障害福祉プラン2027を策定するにあたり、これまでの取り組みと成果や課題について説明を受け、議論しました。

議員からの意見

- ・社会福祉協議会や相談員とも連携して個別避難計画の策定を早急に進めるべきである。
- ・強度行動障害の方の居住等の問題について、県内では行き場が無いと聞くと、早急に県内整備を進めるべきである。

環境生活都市経済常任委員会

委員会協議会

守山町公園再整備に係るPark-PFIの導入に関するアンケート結果等について

アンケートの概要

公園利用者のニーズを把握するため、公園に希望する施設や現状の不満点について、大人(中学生以上)用と子ども(小学生)用に分けて実施

アンケート結果(一部抜粋)

回答者数 計102件(大人用72件 子ども用30件)

Q この公園に飲食店等が出店するとしたらどのように考えますか。

A 良い：83% 良くない：14% その他：3%

Park-PFI(公募設置管理制度)とは
都市公園の魅力向上を図るため、民間の資金やノウハウを活用して飲食店などの収益施設を整備し、その収益を公園の広場や園路といった公共施設の整備・改修に還元する官民連携の制度

出店は良いと思う

- ・カフェやレストランを楽しみに公園に行ける。
- ・子どもも一緒にお昼ご飯を食べられる。
- ・子ども連れでも公園で一日過ごせる。
- ・大人も楽しめる。

等

出店は良くないと思う

- ・ほのぼの、ひろびろしているところが良い。
- ・ゴミが増える。
- ・木が迷路になって子供たちが楽しんでいる。
- ・自然が減っている中子どもの自然体験を守るべき。

等

<地元自治会(元町)からの意見>

- ・地域の保育所等がお散歩先として利用しているため各園には丁寧に説明をしてあげてほしい。
- ・ホタルの幼虫を放流する予定をしており、環境への配慮を要望する。
- ・一時避難場所に指定されているため防災機能(かまどベンチ、マンホールトイレ等)の向上を望む。

議員からの意見

飲食店等の設置場所は、利用者の導線や安全面も考慮し、しっかりと設置エリアの検討をすべきである。

ほたるの森資料館整備事業について

公募型プロポーザル方式で設計業者の選定を行い、6月25日付で契約を締結され、審査の結果や今後の予定について報告を受けました。

設計業者：株式会社岩瀬諒子設計事務所

工事期間：令和9年6月から令和10年3月まで

供用開始：令和10年5月

〈提案図〉



※あくまでイメージであり、整備内容の詳細は今後検討を行い決定します。

議員からの意見

野外音楽広場の形状を活かした展示室がとても斬新で、市民の皆さんが楽しめるアイデアが取り入れられており完成が待ち遠しい。供用開始時期が遅れることのないよう工事の進捗管理を徹底し、進めてほしい。

子育て支援対策特別委員会

待機児童対策について

待機児童の早期解消に向けた取り組みについて説明を受け、議論しました。

待機児童数の状況(各年4月1日時点)

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
令和8年度	—	8	5	—	—	—	13
令和7年度	—	21	6	—	—	—	27
令和6年度	—	38	20	—	—	—	58
令和5年度	—	52	25	5	—	—	82
令和4年度	—	2	7	—	—	—	9

待機児童対策の取り組みによる成果

令和8年4月入所においては、2園のハード整備や保育補助者等雇上強化事業費補助金の創設、新規採用保育等臨時給付金、もりやま手当等のソフト事業の取り組みにより、入所児童数は全体で61人増加しました。

幼稚園の魅力向上の取り組み

- ・幼稚園給食の開始(令和7年度から)
- ・預かり保育を利用しやすくするため、実施日の拡充や利用負担額の減額を実施

これらの取り組みにより、令和8年度の幼稚園の入所申し込みにおいて、当初保育所入所を希望していた園児のうち23名が幼稚園へ入園された。

- ・園庭の緑化計画の推進(令和8年度から)

「やってみたいがあふれる風とみどりの園庭づくり」をテーマに、木陰づくりやコンポストを活用した栽培活動など、各園で工夫を凝らした取り組みを実施中。

議員からの意見

- ・待機児童の解消だけでなく、兄弟姉妹が別々の園に通う状況の改善も今後の課題である。
- ・保育士等確保事業費補助金については、補助後の勤務継続状況などを把握し、制度の効果を検証していく必要がある。

【北部地域】地域子育て支援拠点施設について

速野会館や北部図書館に近接する速野幼稚園に地域子育て支援拠点施設を整備し、北部地域一体で子育て施策の充実を図ることについて説明を受け、議論しました。

速野幼稚園で実施するメリット

- ・利用者が在園児との交流や、園庭を使った活動、幼児教育の専門職へ直接相談しやすい環境になる。
- ・こども誰でも通園制度の実施により、2歳児までの利用者に早期から幼稚園の魅力を感じてもらうことで、幼稚園への就園率の向上が期待できる。

議員からの意見

施設利用者の駐車場は速野小学校のプール横のスペースを活用するとのことだが、十分確保できるか、今一度確認と必要に応じて整備が必要である。

委員会視察の振り返り

亀山市、天理市への視察、JR長岡京駅前と長岡公園(長岡京市)での現地視察を踏まえて、委員会としての守山駅東口再整備への問題意識を共有しました。

主な問題意識

- ・過大な開発にならないように、緩やかで現実的な開発にするべきである。
- ・商業施設のテナントは空室が発生する懸念がある。
- ・広場や広場周辺は、誰にとっても快適な空間にするべきである。
- ・市民参加や、住民の声を生かす仕組みが必要である。

守山駅東口再整備の現在の検討方針について

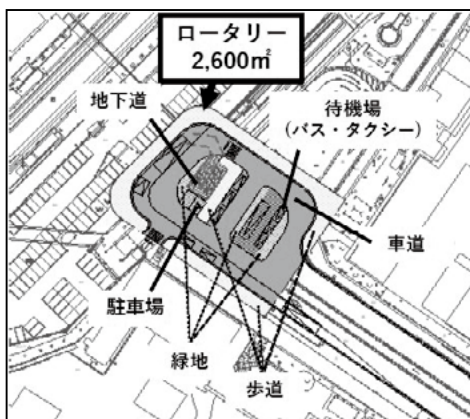
これまでの議論や交通シミュレーションの結果を踏まえて示された方針について、議論しました。

ロータリー等の検討

- ・停車スペースは現在と同程度の面積を確保し、利便性を考慮し、機能的な配置・形状とする。
- ・駐車場をロータリーの北側に配置し、一方通行道路を車道として存続させる方向とする。
- ・地下道については、全体ゾーニング等をふまえて、スロープ・階段の組み合わせや、配置場所を検討する。

東西移動の強化

新たな自由通路を整備する場合の設置場所を南側・中央・北側の3エリアに分けて比較した結果、駅西口と東口の中心から大きく外れることなく、ロータリーや広場との接続性も高い「中央」のエリアが最適であることがわかった。



守山駅東口の新たなロータリー案



守山駅周辺の新たな自由通路の設置場所の検討

議員からの意見

- ・ロータリーを更に広げるために、広場の面積を縮小してはどうか。
- ・オフィス等の面積を縮小し、道路を配置してはどうか。
- ・新たな自由通路を整備する場合、事業費が増えることを懸念する。

議会改革・広報広聴特別委員会

小学6年生議会学習会の開催について

授業で地方自治を学ぶ小学6年生に、実際に議場に来てもらい、質問等を体験してもらうことで、より深く地方自治を学んでもらうとともに、未来の守山市を担う子どもたちに市議会へ関心を持ってもらうことを目的に、毎年、小学6年生議会学習会を開催しています。議会学習会は、1年に1校ずつ輪番で開催していますが、より多くの子どもたちが体験できるように、今年度は、5月18日に玉津小学校、5月22日に小津小学校の2校を対象に開催しました。(詳細は16、17ページ)

ご協力いただいた学校関係者の皆さま、ありがとうございました。

議員からの 意見

- ・アンケート結果で、「今度は家族と議場見学してみたい」、「将来、議員になりたい」など関心を持ってもらえていることから、有意義な取り組みである。
- ・市内全小学6年生に体験してもらえるように工夫できないか。
- ・採決ボタンを実際に使用した模擬採決は大変好評であり、引き続き実施すべき。
- ・学習会の様子を保護者が見られるように工夫できないか。



文教福祉常任委員会 7月7日

委員会の所管事務調査として、「ワークステーションわかたけ」、「若竹福祉総合学院」を視察しました。障害福祉2040年問題と地域共生社会の実現に向けて、現場から見える課題などについて説明を受け、施設を見学しました。障害福祉サービスの充実により、選択肢が増え、地域で暮らせる人が増加した一方で、人材不足や「親なき後問題」への対応、重度障害者支援、孤立化など、新たな課題が生じているとのことでした。そのような中で、行政、企業、学校、医療、地域住民など



多様な主体をつなぐ「地域のハブ」として社会福祉法人が果たす役割や、多職種・多法人が連携しながら地域生活を支える仕組みづくりの重要性について学びました。

今後も、障害のある方が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域共生社会の実現に向け、本市の施策にしっかりと活かします。



子育て支援対策特別委員会 5月11日～12日

愛知県
高浜市

小学生の放課後居場所 事業について

高浜市では、全小学生を対象に校庭を活用した無料の放課後居場所事業を実施されています。児童クラブに登録するほどではない家庭の需要を受け止め、シルバー人材の見守りのもと、子どもが自由に遊ぶ「公園に近い居場所」として機能していました。また、地域のスポーツクラブによる遊びの提供もあり、子どもたちが安心して活動できる環境が整えられていました。

本市における子どもの居場所づくりや人材不足への対応を考える上で、大変参考になりました。



静岡県
菊川市

こどもわかもの 参画事業について

菊川市は、こども基本法の理念に基づき、行政・学校・NPO等が協働して若者の声を市政に反映させる仕組みを構築されています。特筆すべきは、条例ではなく「宣言」という手法で市民の自主性を尊重した点と、中間支援組織を介して若者の意見を行政へ円滑につなぐ体制です。若者の自主活動を支援する交付金など、郷土愛を育む仕掛けも充実しています。

本市においても、市民協働の枠組みを活かし、誰もが自分らしく参画できるまちづくりを目指して、今後の政策にしっかりと活かします。



まちづくり対策特別委員会 5月14日～15日

三重県
亀山市

亀山駅周辺の再生について

亀山市は、権利関係者主体の組合による市街地再開発事業で、商業施設・図書館・マンションを複合した再開発ビルと駅前広場を整備されました。本事業により、駅ロータリーの交通渋滞は大きく緩和し、図書館の利用者は大幅に増え、亀山駅の乗降客数も増加しています。

本市の守山駅東口再整備計画においても、民間事業者の参画条件や費用負担のあり方、地権者との合意形成、交通広場の設計手法等が重要となる要素であり、今後の守山駅東口再整備を推進していくうえで大変参考となりました。



奈良県
天理市

天理駅周辺の まちづくりについて

天理市は、駅前広場とその周辺を、にぎわいの拠点としての側面と交通結節点としての側面を重要視し、カフェ・野外ステージ・遊具・観光案内などを備えたデザイン性の高い駅前広場「コフファン」として整備されました。広場を活用したイベントは、順調に増加しており、地域の保育園等の遠足の場にもなっています。

守山駅東口再整備における土地所有者との費用分担の仕組みや、にぎわい創出と回遊性向上など、広場機能の整備にしっかりと活かします。



※二次元コードから各質疑応答時の映像がご覧になれます

令和8年 守山市議会
6月定例会会議 質疑・質問一覧

市政を問う

令和8年
6月17日、18日

個人質問

個人質問の順番は、発言通告書が提出された順番です。【 】内は、答弁者です。

質問順番 (掲載頁)	質問者	質問事項
1 (P11)	田中 均 【一問一答方式】	1 小中学校の安全対策について【教育長】 2 中学校教員の生徒会活動時の出勤・サポートについて【教育長】
2 (P11)	二上 勝友 【分割方式】	1 市施設における子どもの安全について【総合政策部長・教育部長】 2 小中学校の修学旅行について【教育長】 3 新しく変わったローマ字表記について【教育長・総合政策部長】
3 (P12)	川本 航平 【分割方式】	1 発達支援システムの位置づけについて【副市長・教育長】 2 発達支援システム基本方針2027の内容について【副市長・こども家庭部長】
4 (P12)	上田 佐和 【一問一答方式】	1 市民が利用しやすい情報発信と公共施設のあり方について【副市長・総合政策部長】
5 (P13)	川本 佳子 【一問一答方式】	1 議第28号から議第51号まで 守山市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて【都市経済部長】 2 中学校の課外活動における教員の負担軽減について【教育長】 3 子どもたちが安心して学べる教育環境の充実について【市長】 4 勝部四丁目交差点の安全対策について【建設部長】
6 (P13)	小牧 一美 【一問一答方式】	1 イラン情勢による市民生活への影響と対策について【市長】 2 日本の平和と守山市の自衛隊への名簿提供について【市長】 3 市民への情報提供のあり方について【総合政策部長・総務部長】 4 公園の樹木管理と守山町公園のパークPFIについて【建設部長】
7 (P14)	榎本 花菜恵 【総括方式】	1 ここタンについて【教育長】
8 (P14)	松永 恵美子 【分割方式】	1 障害者の65歳問題について (1) 介護保険サービスへの移行について【健康福祉部理事】 (2) 障害支援区分の有効期間と介護保険サービス移行の関連について【健康福祉部理事】
9 (P15)	藤原 浩美 【分割方式】	1 ナフサ不足と循環型社会について【市長】 2 安心できる児童の放課後のあり方について【こども家庭部長】 3 プレコンセプションケアの普及と取組みについて 【教育長・総合政策部長・こども家庭部長】
10 (P15)	北野 裕也 【分割方式】	1 市立小中学校における平和教育・修学旅行・校外学習の安全確保と政治的中立性について【教育長】 2 法竜川の治水対策と流域経営について【市長】



小中学校の水分補給対策や 教員の公務での個人スマホ利用について問う

問 小学生の追加の水分補給は、学校からペットボトルを受け取り、後日に返還する交換制度であるが、ペットボトルの管理について、チェックリストや運用ルールは統一されているか。また、小中学校に水道直結型給水機の設置を提案するが見解を伺う。

答 学校のペットボトル交換制は配布、返却時のチェックリストはありませんが、銘柄等問わず、賞味期限や開封状況を確認しながら対応しています。ペットボトルは、職員室や保健室等で常温保管しており、貸出返却リストを作成し、常時渡せる体制としています。原則、各家庭から十分な

水分を持参いただくこととしており、不足時にはペットボトル飲料水の提供に加え、体調不良時にはウォーターサーバーの水分を提供するなど、弾力的な活用により対応していることから、現在の方法の継続が適当と考えます。

問 市内小中学校では、緊急時に、教員の個人携帯電話の使用を認めている。教員間の連絡用にTeamsアプリを個人携帯電話にインストールし、利用できるとされているが、利用に差がみられる。教員の業務用携帯電話の導入について見解を伺う。

答 児童・生徒の緊急対応時には、教員の個人携帯電話



公明党
田中 均 (たなか ひとし)

を利用する場合がある旨を保護者へ周知し、理解を求めています。Teamsアプリの導入については、無料通話ができるほか、資料の共有などの便利な機能もあり、屋外や県内外での利用も想定しています。Teamsアプリを有効に活用している学校の事例や運用方法等を共有化し、DXの推進を図る中で校務の効率化を進めます。



市施設の不審者対応力は十分か？ 子どもは安全か？ 中学校修学旅行費用(約7万円)は高すぎないか？

市施設における子どもの安全について

問 市民体育館や市民スポーツ広場、市民ホール、図書館での子どもの安全を確保する必要性を認識しているか。また、施設の職員の不審者対応の練度はどうか。施設にはどのような不審者対応に供する機材を装備しているか。

答 子どもの安全確保は、極めて重要と認識しています。実際に不審者と対峙した際の対応は、十分とは言えない状況のため、管理者に対して、職員向けの訓練や研修の実施を促します。また、管理者と協議の上、適切な装備の導入を検討します。

小中学校の修学旅行について

問 小中学校の修学旅行費用を抑えられないか。

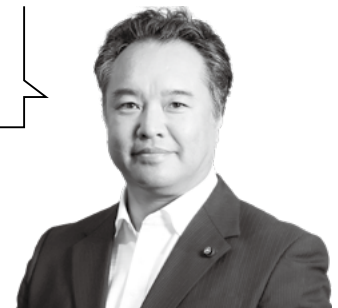
答 県内他市町と比較して特に高額ではないですが、決して小さな負担ではないと認識しています。教育的効果を確保しながら、可能な限り適正な費用となるよう努めます。

新しく変わった

ローマ字表記について

問 令和7年内閣告示(第4号)によりローマ字の表記方法が変わった。小学校でのローマ字教育について、見解を伺う。

答 学習指導要領解説の一部更新により、本市では、ヘボ



無所属
二上 勝友 (ふたかみ かつとも)

ン式を基本とした指導を行います。情報機器での文字入力の学習等では、訓令式での入力も可能であり、柔軟に対応します。

問 今後新たに設置する案内などのローマ字表記もこの新方式を採用してはどうか。

答 今後、ローマ字表記する際には、当該告示を踏まえ対応します。



無所属

川本 航平(かわもと こうへい)

発達支援システム基本方針2027で より良い発達支援を実現するために



問 次期教育行政大綱でも、地域福祉計画などと同じように発達支援システムについて記載すべきではないか。

答 次期教育行政大綱において、発達支援システムを明確に位置づけ、教育分野としての役割や方向性を示すことは重要だと認識しています。

問 発達支援システムと重層的支援体制整備事業の関係は

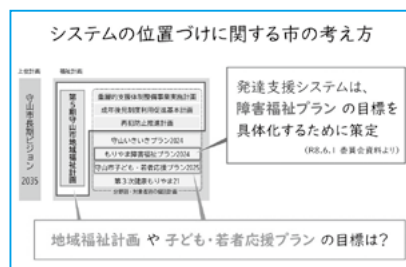
どのようなものか。また、発達支援システムと地域福祉計画や子ども・若者応援プランとの関係を明確にすべきではないか。

答 発達支援システムを含めた包括的な支援体制を強化・促進するために、重層的支援体制整備事業を活用しています。発達支援システム基本方針2027では、各種計画との関連性を明確に示します。

問 現在の基本方針は、現状分析に28ページも使うなど、分かりにくく、活用しにくい。発達支援システム基本方針2027では、本人、保護者、関係機関にとっても分かりやすく、活用しやすい

ように整理すべきではないか。

答 基本政策や取り組みを分かりやすく分類することで、支援体制を明確化します。現状分析や調査結果などは、資料編や別冊とするなど可能な限り簡潔な計画となるよう努めます。



無所属

上田 佐和(うえだ さわ)

デジタルサイネージと クールシェアから見える公共施設の可能性



問 新庁舎で導入されたデジタルサイネージは、多くの情報を効率的に発信できる利点があるが、旧庁舎のポスター掲示のように後から確認することが難しく、一度見逃した情報に再度アクセスする手段が十分に用意されていない。市民が必要な時に必要な情報へアクセスできる状態の確保が重要であると考えているがいかがか。

答 庁舎のデジタルサイネージは、画面が一定時間ごとに切り替わり、見たい情報を選択して表示するタッチパネル機能がなため、見逃した情報をすぐに再度閲覧することが困難であることは認識しています。サイネージに掲載しているポスター等を総合受付で閲覧できるよう検討します。

問 熱中症対策として公共施設をクールシェア施設として開放しているが、そのことを知らない市民や、利用方法が分かりにくい、市役所多目的ホールの席が埋まり利用できなかったとの声がある。一定のニーズがあることから、席の増設や案内表示などの対

策はできないか。

答 暑熱避難施設の一環として、一定の役割を果たしていると考えますが、利用者から空調の効きが悪い、休息場所が確保されていないなど、施設を利用しにくいとの意見もお聞きしています。市民が利用しやすい環境整備に努めるとともに、施設入口に分かりやすい案内表示板の設置を行い、広報、ホームページ、公式LINE、安全・安心メール等、多様な広報手段により、クールシェア施設を利用いただけるよう周知啓発を行います。



部活動顧問の待遇改善、必要な予算と体制整備を求める 市内小中学校に校内電話設置を 無い学校には校務用携帯を貸与すべき

問 部活動の顧問の配置基準はあるのか。校外活動の引率が特定の教員に偏っていないか把握しているのか。また、部活動の校外活動の交通費は教員の自己負担だが、手当を支給すべき。

答 顧問の人数に関する規程はありませんが、通常2名以上の体制であり、日常の活動時には、1名は指導にあたるようにしています。部活動改革を進める中で、教員の負担軽減に繋がる取り組みを進めます。滋賀県の規定で、教員特殊業務手当が支給されるため、交通費は支給されません。

問 休日の本市主催の行事に中学生が協力しているが、引

率教員に部活動と同程度の手当を支援すべき。

答 休日に引率した際は、振替休日を取得できるようにしています。適切な勤務時間管理と振替日の確実な取得に努めます。

問 緊急時に教職員の個人携帯電話を使用させることは問題がある。校内電話未設置の学校教員には校務用携帯を貸与すべき。

答 緊急時など実際に活用される頻度に比べ、導入コストが大きく、貸与は考えていません。

勝部四丁目交差点の安全対策を

問 勝部四丁目交差点の横断歩道が4車線へ拡幅され、通学路の危険性が高まっている。県



日本共産党議員団
川本 佳子 (かわもと よしこ)

公安委員会へ働きかけ、市としての改善策が必要ではないか。

答 交通量が多く、朝夕に渋滞が発生する交差点ですが、信号機のある一般的な交差点と認識しています。地域や学校、関係機関と連携を図り、児童生徒が安全安心に通学できるよう努めます。



「広報もりやま」がすべての市民に 確実に届くように

問 イラン情勢により、市民の暮らしに深刻な影響が出ている。政府に緊急対策の強化を求め、市としても対策を講じるべき。

答 約2,700万円の国の追加交付金が示されたため、真に支援を必要とする方々へ確実に届くよう、9月補正予算で対応を検討します。

問 自衛隊募集に関して、18歳市民の名簿を提供するのは市町村の義務ではない。宛名シールの提供はやめるべき。

答 個人情報の観点からも十分な配慮がなされており、法的根拠に基づいた適切なものであると認識しています。

問 新聞購読者の減少で広報もりやまが届かない人が増えている。すべての市民に確実に情報を届ける責任が市にあると考えるが、抜本的な対策について伺う。

答 今年度、情報発信に係る基本方針の作成を進め、市全体での積極的、効果的な情報発信に取り組みます。

問 紙の情報を拒絶することなく、公共施設のポスター掲示やチラシ提供を改善すべき。

答 デジタルとアナログのそれぞれの良さを活かせる情報提供のあり方を検討します。

問 国の「公園施設の安全点検に係る指針(案)」に基づく



日本共産党議員団
小牧 一美 (こまき かずみ)

都市公園樹木の点検・診断について伺う。また、守山町公園にパークPFIを導入するのはなぜか。

答 今年度から剪定と伐採を計画的に行います。パークPFIは民間の優良な投資を誘導する公園管理手法で、財政負担を軽減する効果的な再整備手法と判断しています。事業者の管理責任は店舗を含む公園の一部で、公園全体は本市が管理する方針です。



ネットワーク未来
榎本 花菜恵 (ますもと かなえ)

小さなSOSを見逃さないために



問 本市では不登校対策の一環で、心の健康観察・教育相談システム「ここタン」を導入している。「ここタン」は、児童生徒が体調や気分を入力したり、相談したい意思を伝えることができるアプリで、児童生徒が自らの体調や心の状態を振り返り、客観的に把握する機会となることから、自己理解や自己管理能力の向上につながる事が期待される。また、助

けを求める手段が増え、問題の早期発見や早期支援につながることも期待される。令和7年度の導入から1年が経過したが、得られた成果や効果について伺う。

答 児童生徒の心身の状況の把握や、教員による声かけや支援につながっているほか、「きたいほしい」機能により、悩みごとのある児童生徒の早期対応にもつながっています。

問 「ここタン」の発展的な活用や、現場の教員にどのように「ここタン」の有用性を周知するのか、見解を伺う。

答 「ここタン」は心の健康観察だけでなく、その結果を児

童生徒が客観的に捉え、自らSOSを出したりすることなどが重要であり、「心身の発達と心の健康」の授業と「ここタン」での記録を関連付けながら、指導を図ることも可能です。教員への周知を図り、学級経営や教育相談にも活用するなど、その有用性を一層高めることが重要と考えます。また、人による支援との両輪で取り組むことが大切と考えており、児童生徒の思いを丁寧に受け止める教員の育成に努め、安心して相談できる学校風土づくりと支援の充実を図ります。



守政会
松永 恵美子 (まつなが えみこ)

「障害者65歳問題」

自分らしい生活の継続を！



問 65歳になると原則、障害福祉サービスから介護保険サービスに移行され、自己負担の増加やサービスの質や量の低下など、生活上のさまざまな問題が発生する「障害者65歳問題」がある。一律に介護保険サービスへの移行を優先するのではなく、申請者ごとの個別の状態を丁寧に勘案し、必要とされる支援を提供することが重要であるが、本市ではどのよ

うな対応や移行手続きを行っているか伺う。

答 障害のある方も、65歳からは基本的に介護保険サービスが優先となります。介護保険サービスに相当するものがなく、障害福祉サービス固有のものと認められるものは、引き続き障害福祉サービスの利用が可能です。また、「新高額障害福祉サービス等給付費」の制度を活用することで、介護保険へ移行した際に発生する自己負担の一部を軽減できます。介護保険サービス移行の手続きは、障害福祉サービス利用の方が65歳になるタイミングで訪問や面談を行い、個別の生活状況や本人の意向を丁

寧に聞き取る中、申請の案内をしています。個々に必要なサービスが提供されるよう、関係機関と連携を図り、適切な支援に努めます。

問 65歳以上の方が障害福祉サービスを継続利用する場合も、障害支援区分や有効期間は同じ基準で決定しているか。

答 障害支援区分認定審査会で決定する障害支援区分や有効期間の基準は、65歳までと同じです。有効期間は、本人の身体・精神の状況に応じて、短縮されることがあります。



ナフサ不足を機に循環型社会の推進を

問 イラン情勢により、食料や原油などの多くを輸入に頼る日本では、石油製品の中でもナフサの不足により、国民生活の基盤を直撃している。プラスチック用品の使用や「使い捨てる」生活を見直し、食料自給率を高める農業政策や公共交通の利用を進めるべきと考えるが、見解を伺う。

答 環境保全型農業や地産地消の推進、マイバッグ運動、詰め替え商品の購入、公共交通の利用促進、自転車や徒歩へと移行しやすい環境づくりを推進します。

問 放課後児童クラブの利用ニーズ増加に対して、放課後児童クラブを拡充する小学校区

と放課後の居場所事業を実施する小学校区の違いは何か。放課後の居場所事業ではなく、放課後児童クラブの専用施設整備をすべき。

答 原則は、放課後児童クラブの拡充を基本方針としています。玉津・中洲小学校区は施設確保がむずかしいことや児童の減少が見込まれること等から、事業の管理・運営における安定性が確保しやすい放課後の居場所事業を実施します。

問 こども家庭庁は昨年「プレコンセプションケア推進5か年計画」を公表した。本市でも計画を策定し、滋賀県のプレコンケア講師派遣事業の活用を含め、



日本共産党議員団
藤原 浩美(ふじわら ひろみ)

プレコンケアの普及に取り組むべき。

答 滋賀県保健医療計画の中間見直しにおいて、プレコンに関する見直しが予定されているため、動向を注視し、他市の状況も踏まえ研究します。プレコンという言葉の認知度は高いとは言えないため、性や健康に対する正しい知識と合わせて周知します。



政治的中立性の教育とは？ 市長のリーダーシップで法竜川流域設計を！

問 高等学校の研修旅行中に生徒が亡くなれる沖縄での悲しい事故を受け、本市での平和学習の環境(外部関係者の関与、保護者説明、安全管理など)を確認されたのか伺う。また、政治的中立性について見解を伺う。

答 学校からは学習の目的、行程、安全上の配慮などについて報告を受けており、活動内容などについても把握しています。「政治的中立性」とは、特定の立場への誘導がなく、多様な見方に触れられる学習活動の中で、児童生徒が「自分で考える環境」が確保されている状態と考えます。

意見

学習活動の実態把握だけではなく、共通基準の作成が必要である。

問 一級河川法竜川の河川管理者は滋賀県だが、本市は開発指導、治水対策、地域防災などを担っている。特に、治水対策の取り組みや、流域周辺の開発については、市民に見えるように説明すべき。

答 法竜川全体の治水対策は重要課題であり、県へ調節池整備・護岸改修を強く要望するとともに治水対策に取り組みます。水害ハザードマップを公表し、市民の皆さまにお知らせします。



無所属
北野 裕也(きたの ひろや)

意見

ハザードマップの公表だけでなく、今後の周辺の土地利用の指針を示すべき。



小学6年生 議会学習会

5月18日に玉津小学校6年生、22日に小津小学校6年生を議場に招待し、実際に議会を体験してもらう「議会学習会」を実施しました。

また、市長室、応接室の見学では、担当議員が案内を行い、議長室の見学では実際に子どもたちが椅子に座ってみたりなど、普段は見ることのない部屋で興味を持って熱心に説明を聞いていました。



委員会室で概要説明

子どもたちはクラス単位で議員から議会の仕組みについて説明を受けました。



議場で質疑応答

子ども議長の進行のもと、事前に考えてきた質問を議員や辻本教育長に投げかけ、熱心に答弁を聞きました。

玉津小学校



◎ 市議会はなぜできたのですか？

- Ⓐ 市長一人で決めるのではなく、市民が選んだ代表のみんなで話し合って、市のことを決めるために市議会ができました。

小津小学校



◎ 市長や市議会議員は何年続けられますか？

- A** 4年に一度の選挙で選ばれれば何回、何年でも続けられます。
守山市議会には当選8回、30年の議員がいます。

賛成！反対！模擬採決を体験

模擬採決では、実際の議場の雰囲気を感じながら、議案が多数決によって決定される流れを体験しました。

採決とは

各議員が議案に対し、賛成・反対を表明し議長が賛否をとりまとめること。



ほかにも多くの質問がありました。

- なぜ市議会議員の仕事をしたと思ったのですか。
- 市議会議員の方の休日はいつですか。
- 守山市の一番すてきだと思うところは。
- どうやって市民の意見を取り入れているのですか。
- 議長をやっていて特に大変なことは。

児童の感想

- 丁寧に説明してくれてうれしかった。
- 知りたかったことを知ることができた。家族には新しく知ったことを話してあげようと思った。
- 市議会議員になってみたいと思った。
- 今度は市議会に家族と行ってみたい。
- 市役所が新しくなった理由がわかった。市議会の重要性がわかった。

令和7年度 政務活動費の収支状況

- **政務活動費とは** … 地方自治法の規定に基づき、守山市議会議員の調査研究に資するための経費の一部として、議会における会派に対して交付する経費です。
- **交付方法・金額** … 本市では、議員1人あたり年額250,000円を会派に対して交付しています(「会派」は所属議員が1人の場合も含みます)。なお、交付された政務活動費に残額が生じた場合には、年度終了後に残額を返還しなければなりません。

● 会派別の収支報告

(単位:円)

会派名	議員数	交付額	確定額	返還額
守政会	8	2,000,000	1,882,499	117,501
日本共産党議員団	3	750,000	470,633	279,367
ネットワーク未来	2	500,000	121,358	378,642
日本維新の会※	1	250,000	150	249,850
公明党	1	250,000	211,197	38,803
参政党	1	250,000	250,000	0
日本保守党	1	250,000	75,056	174,944
無所属 藤木 猛	1	250,000	249,540	460
無所属 川本 航平	1	250,000	185,078	64,922
無所属 上田 佐和	1	250,000	211,040	38,960
無所属 二上 勝友※	1	166,000	107,517	58,483

- 収支報告書、出納簿、収支伝票、視察報告書およびその他使途に関する資料(個人情報と判断する部分は除く)をホームページで公開しています。
 - 年度途中で会派の異動があった場合は、交付額を月割りで算出しています。
- ※令和7年7月22日付で日本維新の会から解散届を受け、新たに無所属として、8か月分を交付しました。



守山市議会業務継続計画(議会BCP)を策定しました。

地震、風水害、大雪、感染症その他の大規模な非常事態が発生した場合においても、議会業務の継続と、議会としての責務を果たすことを目的に、必要な組織体制や議会・議員の役割などを定めた守山市議会業務継続計画(議会BCP)を令和8年6月1日に策定しました。

計画の主な内容

- 議会BCPの発動基準および市議会災害対策会議の設置
- 災害等発生時(議会BCP発動時)における議員の活動および議会の対応
- 災害等発生時の議会の初動対応および議会運営
- 議長または事務局長が不在の場合の職務代行
- 会議(本会議・委員会)開催に向けた具体的対応
- 感染症に係る対応
- 今後の議会BCPの見直し
- その他各種対応(研修会および訓練の適宜実施)

BCPとは

組織が自然災害などの緊急事態に遭遇した場合に備えて、損害を最小限にとどめつつ、事業の継続・早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続の方法などを取り決めておく計画のことです。

議会活動報告(4～6月)

4月7日(火)	市議会だより編集委員会
15日(水)	全員協議会
17日(金)	議会改革・広報広聴特別委員会
5月11日(月)	子育て支援対策特別委員会(行政視察)
12日(火)	子育て支援対策特別委員会(行政視察)
13日(水)	議会改革・広報広聴特別委員会
14日(木)	まちづくり対策特別委員会(行政視察)
15日(金)	まちづくり対策特別委員会(行政視察)
18日(月)	議会学習会(玉津小学校6年生)
22日(金)	議会学習会(小津小学校6年生)
29日(金)	議会運営委員会

6月1日(月)	子育て支援対策特別委員会
2日(火)	まちづくり対策特別委員会
3日(水)	議会改革・広報広聴特別委員会
5日(金)	定例会会議(第1日)／市議会だより編集委員会
17日(水)	定例会会議(第2日)
18日(木)	定例会会議(第3日)
19日(金)	議会運営委員会／総務常任委員会
22日(月)	文教福祉常任委員会
23日(火)	環境生活都市経済常任委員会
25日(木)	議会運営委員会／定例会会議(第4日) 総務常任委員会／文教福祉常任委員会 全員協議会／市議会だより編集委員会



6月定例月会議 審議結果一覧

全会一致で可決等された議案

予算 2件	議第24号	令和8年度守山市一般会計補正予算(第1号)
	議第52号	令和8年度守山市一般会計補正予算(第2号)
条例 3件	議第25号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例案
	議第26号	守山市税条例の一部を改正する条例案
	議第27号	守山市都市計画税条例の一部を改正する条例案
人事 24件	議第28号	守山市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	議第29号	守山市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	議第30号	守山市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	議第31号	守山市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	議第32号	守山市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	議第33号	守山市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	議第34号	守山市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	議第35号	守山市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	議第36号	守山市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	議第37号	守山市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	議第38号	守山市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	議第39号	守山市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	議第40号	守山市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	議第41号	守山市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	議第42号	守山市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	議第43号	守山市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	議第44号	守山市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	議第45号	守山市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	議第46号	守山市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	議第47号	守山市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	議第48号	守山市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	議第49号	守山市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	議第50号	守山市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	議第51号	守山市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて

賛否が分かれた議案

賛否が分かれた議案		議決結果	会派											無所属					
			①						②		③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		
			新野 富美夫	筈井 昌彦	森 貴樹	松永恵美子	高田 正司	渡邊 邦男	田中 尚仁	小牧 一美	藤原 浩美	川本 佳子	福井 寿美子	榎本花菜恵	田中 均	藤木 猛	川本 航平	上田 佐和	二上 勝友
意見書 第7号	性急な衆議院比例定数削減をやめることを求める意見書	否決	×	×	×	×	×	—	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×
意見書 第8号	過大な標準授業時数の削減の検討を求める意見書	否決	×	×	×	×	×	—	○	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×
意見書 第9号	非核三原則の堅持を求める意見書	原案 可決	×	×	×	×	×	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

① 守政会 ② 日本共産党議員団 ③ ネットワーク未来 ④ 公明党 ⑤～⑨ 無所属議員
○…賛成 ×…反対 議長は表決に加わらないため「—」と表示しています。

次回定例月会議等の開催予定

※開会時間は原則午前9時30分です。

8月28日(金)	議会運営委員会 ※非公開	18日(金)	総務常任委員会
31日(月)	子育て支援対策特別委員会	24日(木)	文教福祉常任委員会
9月1日(火)	まちづくり対策特別委員会	25日(金)	環境生活都市経済常任委員会
2日(水)	議会改革・広報広聴特別委員会	28日(月)	決算特別委員会
4日(金)	定例月会議(第1日)	29日(火)	決算特別委員会
16日(水)	定例月会議(第2日)	30日(水)	決算特別委員会
17日(木)	定例月会議(第3日)	10月2日(金)	定例月会議(第4日)

まちの トピックス Topics



知るが変える 語るがつながる 参画が未来をつくる

～これからの守山の方向性～

6月27日に守山青年会議所主催で、市長、議長、スクールソーシャルワーカー、立命館高校の生徒による、「守山市長期ビジョン2035」をテーマにした対談が、立命館守山中学校で行われました。

それぞれの立場や世代を超えた率直な意見交換を通して、「これからの守山が目指すまちの姿」や「自分たちにできること」について考えを深めました。

対談では、多様な視点から未来の守山への思いや提案が語られ、参加者にとって、これからのまちづくりについて考える貴重な機会となりました。

市議会傍聴のご案内とインターネット中継

次回定例会月会議の予定は19頁に掲載しています。
(日程は変更になる場合もあります)
お問い合わせは議会事務局へ。

TEL : 077-582-1151

守山市議会中継



守山市議会YouTube中継ページへ

インターネットアクセス数

3,100件

(令和8年4月1日～6月30日)

アプリで
見よう!

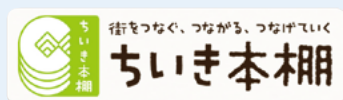
もりやま市議会だよりが**アプリ**で閲覧できます!

App Store

Google play



「マチイロ」アプリを
インストール



「Sidebooks」
アプリをインストールし、
「ちいき本棚」を選択

※アプリの使用は無料ですが、通信費は各回線ごとのご負担となります。

※アプリの閲覧中に広告が表示されますが、その内容に守山市議会は責任を負いません。

編集後記

5月18日に玉津小学校、22日に小津小学校の2校を対象に、小学6年生議会学習会を開催しました。実際の議場で質問を行う体験を通して、市議会の役割やしくみを楽しく学んでくれたようです。子ども達の純粋な質問や真剣に学ぶ姿に、議会を身近に伝える大切さを改めて感じました。この市議会だよりも、より多くの皆さまの手に取っていただき、市議会をより身近に感じ、関心を持っていただけるようお届けしていきます。

市議会だより編集委員 松永 恵美子